

本校卒業生が天王祭供奉人夫奉仕者（鉾持ち衆）として、天王祭朝祭に参加しました

令和6年7月28日（日）

本年度の「尾張津島天王祭 朝祭」に、令和5年度卒業の森川琉世さんと横田和磨さんが鉾持ちとして初めて参加しました。

昨年度、朝祭において鉾持ち衆が池の縁まで泳ぎ切れないケースがあり、それを見学していた本校職員からの勧めで、元水泳部の両名に鉾持ちとして参加しないかというオファーがあったのがきっかけでした。さらに、津島神社の関係者の方たちの御理解のおかげで、両名を名誉ある鉾持ち衆に選んでいただきました。

当日は、快晴の空の下、多くの観光客が見守る中で、400mから500mの距離を、鉾をもちながら堂々と泳ぎ切りました。市江車から飛び込むとき、泳いでいる時、泳ぎ切った時の観光客からの声援は、彼らの力になったことでしょう。

役目を終えた後には、津島神社の社務所の前で、CBCテレビのチャントの取材を受け、今回の取組に対する想いを聞かれていました。

取材後、両名に確認したところ、「チャンスがあれば、来年もぜひ参加したい。もし後輩で、やりたい人がいたら、勧めたい。」と言っていました。

貴重な体験が、自分のためだけでなく地元貢献にもつながり、大変満足していた両名でした。もし、来年度チャレンジしたい人がいたら、職員室教頭席までお越しください。

教頭 金澤

